

TEAMSTUDIO® BUILD MANAGER

自動ビルドシステム

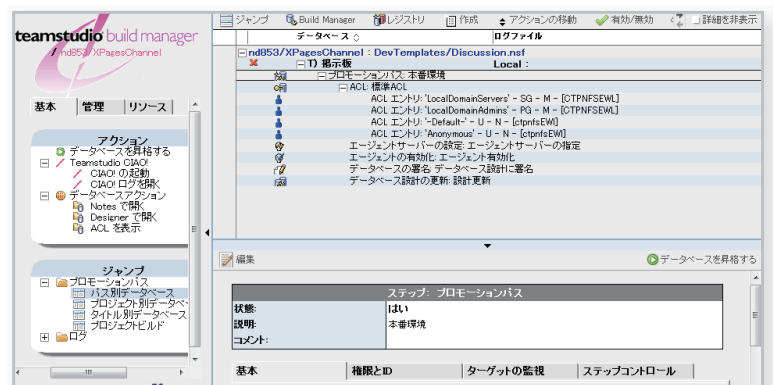
- ④ ワンクリックで、迅速な一貫したビルドを実行
- ④ アクションの監査証跡により、社内外のコンプライアンスを保証
- ④ 承認プロセスによるリリースのコントロール
- ④ ビルドプロセス内でデータベースへの署名を自動化
- ④ 障害時の設計ロールバック
- ④ 各部門の役割、権利および制限を明確に定義



アプリケーションを開発環境から本番環境にリリースすることは大変な作業ではなくなります。Teamstudio Build Managerは一貫した効率的かつ安全で予想可能なビルドにするために、ビルドプロセスの整理、管理、そして自動化の枠組みを提供します。自動化によって、ACL設定や、データベースプロパティ設定およびエージェント設定を正しく実行しながら次のステージへファイルを適切に設定することができます。自動化と、柔軟なBuild Managerの署名機能を組み合わせることで開発に従事していない人でも開発チームのサポートなしでビルドを実行することができます。

ベストプラクティスを現実化

Build Managerは、繰り返し行なわれるビルドプロセスを組み込むことでベストプラクティスを現実のものにします。Build Managerでは、本番環境へのリリースパスを入念にレイアウトし、権限を明確に定義して、厳格な職掌分離と、承認プロセスの合理化を確実に実現します。



BUILD MANAGER プロモーションパス

Build Manager 管理機能を使用すると、ビルドプロセスの自動化に必要なID、標準ACL設定、およびサーバー名を事前に格納定義することができます。これによって、Notesに詳しくない人でも、ボタン一つ押すだけでビルドを実行することができます。また、アプリケーションをリリースすることができる人を限定することもできます。

Build Managerではビルド実施に必要なID(通常管理者ID)を保存したり、必要によって異なるIDを用いてビルドを実行できます。設計に対する署名を直接アプリケーションにアクセスすることなくに変更することも可能です。

アプリケーションが、プロモーションパスに沿って進められると、Build Managerは自動的にプロモーションログを生成、プロモーションの成否の証跡を残すことができます。プロモーションログは、社内ポリシーと外部規制への準拠を示す監査証跡となります。

より迅速で簡単な管理

自動化は、効率の鍵を握ります。Build Managerは、新規サーバーにプロモーションするにあたって、対象アプリケーション上で実行する各アクションを事前に定義し、簡単にビルドプロセスを自動化することができます。さらに大規模な自動化の場合、プログラムにマクロを組み込むことができます。また、Build Managerは、さまざまなNotesビューにより、簡単にアプリケーションの整理と管理を行うことができます。ビューの中で多くのデータベースごとにソートすることで簡単にその情報にアクセスできます。ビュー上のアクションボタンは権限や役割によって自動的に切り替わり作業を安全かつスピードアップさせることができます。

関連商品

BUILD MANAGERと他のTEAMSTUDIOツールを統合することで、以下の機能を強化することができます。

- ④ バージョン自動作成 (TEAMSTUDIO CIAO!®)
- ④ データベースの設計監査 (TEAMSTUDIO ANALYZER)
- ④ 検索と置換 (TEAMSTUDIO CONFIGURATOR)